

# 学校生活ガイドブックに

## 愛教大 外国人児童向け作成

日本語ができない子どもたちの学習を支援する愛知教育大(刈谷市)外国人児童生徒支援リソースルームが、小学校生活のガイドブックの中国語、タガログ語、英語版を作成した。写真。

日本語ができない子どもたちの学習を支援する愛知教育大(刈谷市)外国人児童生徒支援リソースルームが、小学校生活のガイドブックの中国語、タガログ語、英語版を作成した。写真。



小学校の一日や長期休暇、給食など、海外の学校とは異なる仕組みを解説。海外では作る習慣があまりない「弁当」を紹介する欄では、「腐りやすい物、生ものは控える」「お菓子などのおやつはいれない」などと詳しく助言している。

ガイドブックは、二〇一五年につくったポルトガル語、スペイン語版に加え、計五言語となった。上田崇仁准教授は「行事ごとに必要なページを印刷して保護者に読んでもらえたら」と話している。

A4判、百五十五頁。一般への配布はしないが、リソースルームのホームページで全ページを無料で公開している。

(土屋晴康)